

## パリクラブ 21 埼玉の設立について

## 1 趣旨

地球温暖化問題は、人類にとって、私たち県民にとって極めて深刻な問題であり、それによってもたらされる気候変動は、もはや未来の問題ではなく、私たちが直面する現実の問題である。こうした危機感は、幸いにもパリ協定の締結・発効を導き、世界で初めての全ての国による温暖化対策の新たな枠組みが動き出すこととなった。

**COP21:「パリ協定」  
(Paris Agreement)**

歴史上はじめて、すべての国が参加する公平な合意。  
【批准国が55か国以上、世界の総排出量の55%以上に達すると30日後に発効】→2016年11月4日に発効

- ・世界共通の長期目標として2°C目標の設定
- ・1.5°Cに抑える努力を追求
- ・市場メカニズムの活用を位置付け
- ・主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新
- ・適応の長期目標の設定、適応報告書の提出と定期的更新
- ・先進国が資金の提供を継続、途上国も自主的に資金を提供
- ・すべての国が共通・柔軟な方法で実施状況を報告し、レビュー
- ・5年ごとに世界全体の実施状況を確認する仕組み



しかし、残念ながら温暖化問題に対する国民の関心が高まっているとは言えない。今こそ、国を挙げての温暖化対策への取り組みが必要であり、それに向けた**地方のイニシアティブ**が求められている。

埼玉県は、これまで排出量取引制度など世界的にも先進的な温暖化対策を進め、温室効果ガスの削減において一定の成果を上げてきた。そして、今、**2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック**と世界各国の人々を迎い入れる準備を進めている。この機会は、**世界共通の課題である温暖化対策、世界の都市共通の課題であるヒートアイランド対策への積極的・先進的な取り組みを発信**し、世界に向けて日本社会をアピールする好機である。

そこで、埼玉県内の**団体、企業、行政、個人**などの各セクターの有志が集結し、温暖化対策の**緊急性・重要性を強くアピール**するとともに、**草の根の活動を活性化させ、パリ協定の趣旨を足元から具体化**していくため、新たに「**パリクラブ 21 埼玉**」（以下「**クラブ**」という。）を設立するものである。

これにより、**温暖化対策に関する各種の活動を埼玉全土に広げ、新たな県民ムーブメントを巻き起こし、内外に発信**していくことを目指すものである。

## 2 実施期間

2017.1 ~ 2020.9 (集中実施期間)

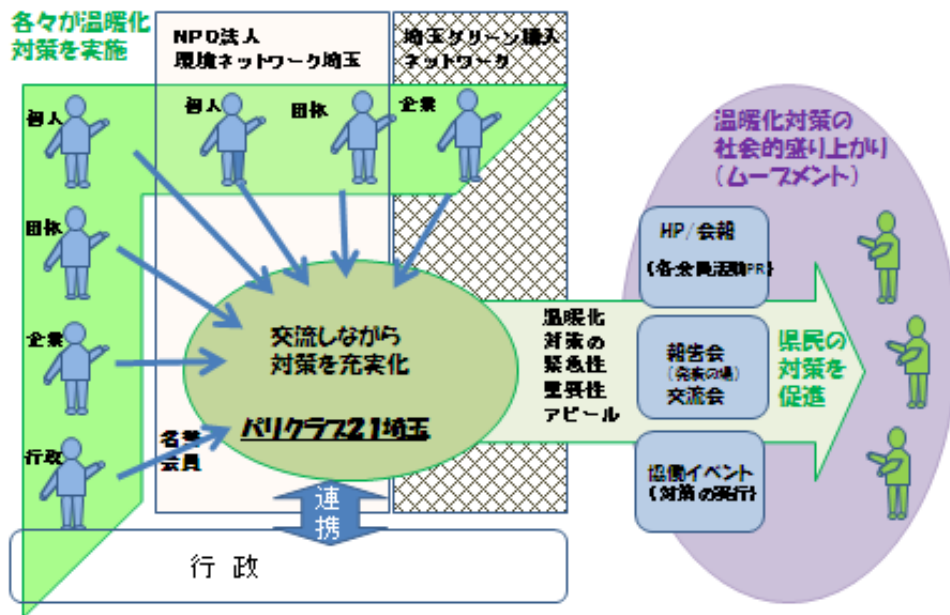
ただし、2020年度末までは削減対策を継続する。

本年から東京オリンピック・パラリンピックの終了時までを集中実施期間として活動する。ただし、削減目標は2020年度末に設定しているので、削減対策は継続するとともに、必要なデータ整理等の活動は2021.3末まで行う。

## 3 活動のポイント

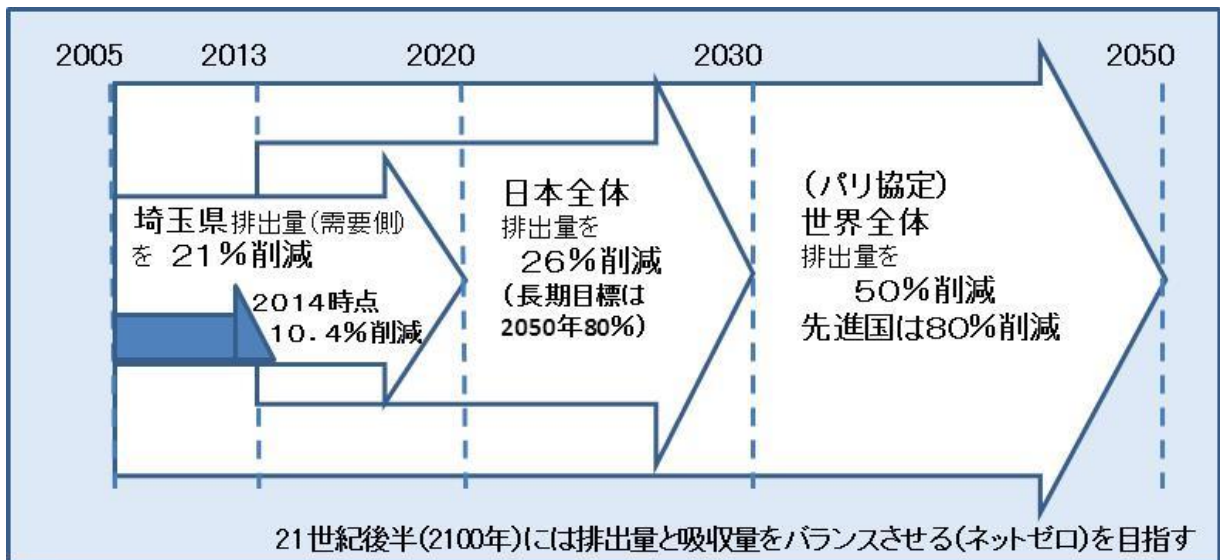
- ① 温暖化対策を進めるNPOや企業などに**発表と交流の場**を提供する。
- ② 併せて、**協働できる取組**を広く展開する。
- ③ これらを通して、**温暖化対策の緊急性・重要性を発信・強くアピール**しながら、**2020年**に向け、**温暖化対策のムーブメント**を起こす。
- ④ このことにより、**削減目標の達成**に貢献する。

## 「パリクラブ21埼玉」活動のイメージ



### 4 温室効果ガスの削減目標

パリ協定の目標を目指すためには、我が国の削減目標の達成を図る必要がある。それには、まずは足元の埼玉県の現在の削減目標の達成を図ることが必須であり、クラブは、その達成に貢献するものとする。



### 5 実施方法

#### (1) 会員等の募集

- ①既に環境ネットワーク埼玉の会員・賛助会員及び埼玉グリーン購入ネットワークの会員であるもののうち、クラブへの入会を了承した個人、団体、企業、行政
- ②クラブへの入会を希望し、新たにクラブの会員となる個人、団体、企業、学校、行政
- ③クラブの活動に協力する学生サポーター

## (2) 会員の責務

会員は、既に実施している温暖化防止対策又はこれから着手する温暖化防止対策を1つ以上クラブ事務局に報告する。(事務局が公表)

### 【温暖化対策の例】

- ①省エネ診断・省エネ機器利用、②緑のカーテン、③打ち水活動、④エコライフデー、⑤再生可能エネルギー利用、⑥緑の創出・保全活動、⑦低炭素交通の利用(低炭素車、自転車、エコドライブ等)、⑧シェア活動(ルーム、カー、クール・ウォーム等)、⑨EMSの取得・推進、⑩グリーン購入活動、⑪温暖化対策の普及啓発活動 ⑫3Rなどの廃棄物対策 ⑬その他

### ◆ロゴの例

## (3) 会員のメリット

- ア クラブ会員証の授与
- イ 会報・メール等による情報提供
- ウ クラブのロゴの使用権授与
- エ クラブ関連グッズ(ピンバッジ、Tシャツ等)の優先割引購入
- オ クラブHPでの活動PR
- カ 関連イベントでの発表やパネル等によるPR
- キ 冠事業(協賛)についてクラブで広報支援 など



### ◆ピンバッジの例



## (4) クラブとしての活動

### ア 会員等の活動を会報やHPなどを通して社会にアピール

会員登録の際に当該会員の温暖化対策の活動概要を報告いただき、それを環境ネットワーク埼玉のホームページ内に設置するクラブの専用ページに掲載する。掲載内容は会員の報告に基づき、原則として年1回更新する。

また、取組のうち、いくつかをピックアップして、会報等に掲載して広報する。さらに、当該会員のホームページのリンク先を掲載するなど、当該会員の活動のPRを支援する。

### イ クラブの活動報告会・交流会を年1回以上開催

会員等への発表の場と会員等間の交流の場を提供するとともに、社会へアピールするため、活動報告会・交流会を年1回以上開催する。この報告会・交流会では、会員等の取組一覧表やパネル等により、会員等の活動をPRするとともに、ステージ発表やブース展示などにより会員等に発表の場を提供する。また、学生や子ども達の参加を促し、環境教育の機会提供や温暖化対策のムーブメントの醸成を図る。

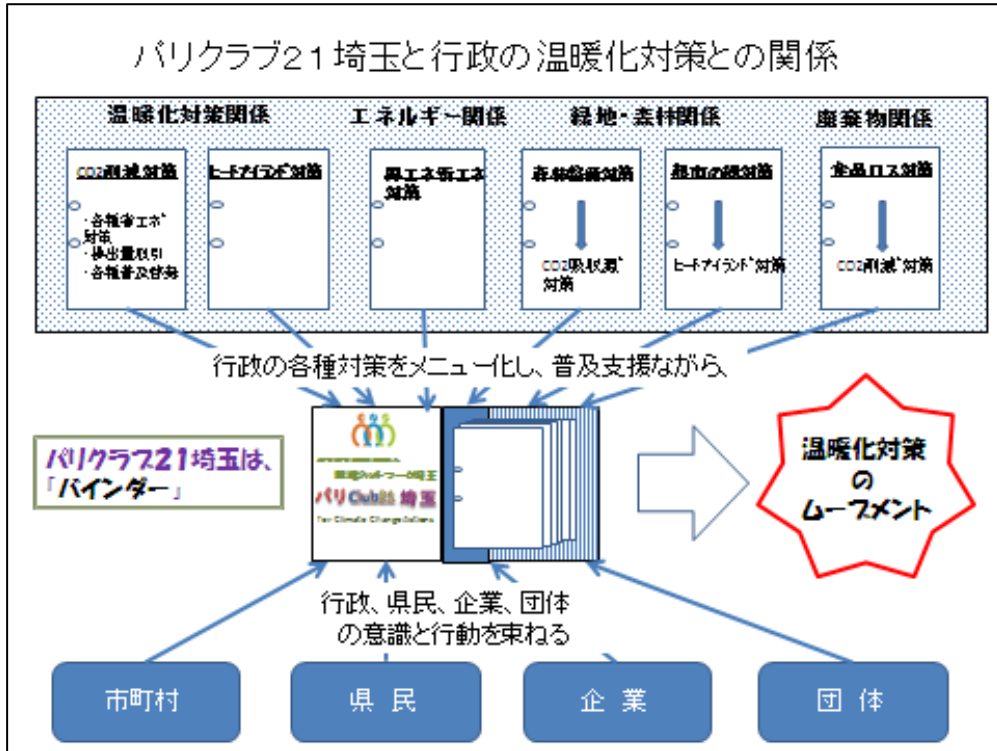
### ウ アピール活動イベントの実施

会員等の協働の取組として、温暖化対策を広くアピールするイベントを年1~2回実施する。  
例 打ち水大会(夏場にヒートアイランド防止対策として実施)

ピークカットチャレンジ（オリンピック時に想定される電力のピークをカットするために、夏場の特定の期間に13時～16時の電力のピークカットを呼びかけ、その効果を把握・公表して、啓発を図る。）

## エ 推奨活動の促進策・充実策について行政と協議、要請

温暖化対策のムーブメントを起こすためには、行政との連携が不可欠である。本活動は、会員の行う各種の活動と行政が行っている対策とをつなぐ役割も担うものでもある。行政が行っている対策のPRを支援する。また、行政が行っている促進策や支援メニュー等でより充実すべきもの、新たに創設すべきものがあれば、行政と協議するとともに、充実等の要請を行うこととする。



## オ 優秀な取り組みの顕彰→低炭素杯への推薦

会員等の取組のうち、優秀なものについては、これを顕彰するとともに、そのうち、特に優れたものは環境省が後援する低炭素杯に推薦するなどして、埼玉の取組を全国に発信する。

## カ 協賛金など活動資金獲得、国等の資金獲得

初年度（平成28年度）は、自主財源を予算として活動するが、協賛金などの活動資金の獲得を進めるとともに、次年度以降は環境省などの外部資金を獲得するように努め、活動のさらなる拡大・展開を図るものとする。

## キ その他

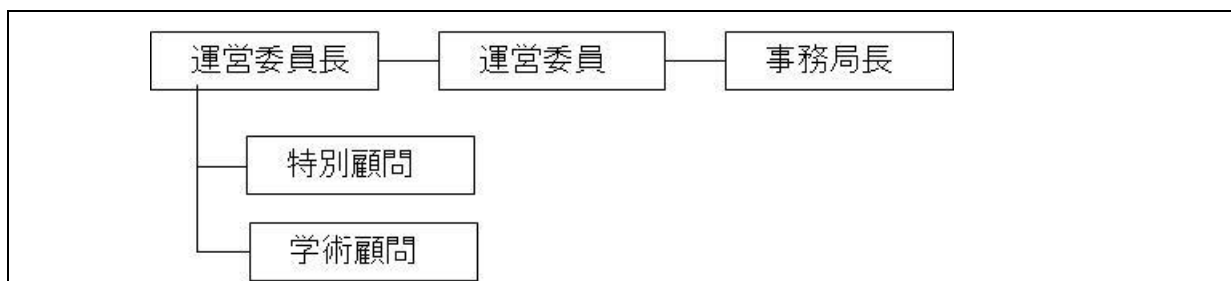
クラブとしての新たな活動を検討するため、必要に応じて研究会等設置する。

## （5）クラブの組織

クラブは県民ムーブメントとして展開していくため、次図のような組織体制とし、順次、充実を図るものとする。

また、クラブは、環境ネットワーク埼玉と埼玉グリーン購入ネットワークが共同で運営するも

のであることから、具体的な運営は新たに設置するクラブ運営委員会（環境ネットワーク埼玉と埼玉グリーン購入ネットワークの運営委員会の全部又は一部委員で構成。）によって行う。運営委員長（プレジダン）は、環境ネットワーク埼玉の代表理事とする。運営に必要な費用については、両団体から加入したクラブ会員数等に応じた応分の負担を原則に具体的には運営委員会で毎年度協議して決定するものとする。



1) 運営委員長（プレジダン）

認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉 代表理事 江田元之

2) 運営委員（兼）事務局長

認定特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉 理事（兼）事務局長 秋元智子

3) 特別顧問

衆議院議員 牧原秀樹

4) 学術顧問

特定非営利活動法人 環境生態工学研究所 理事長 須藤隆一

埼玉大学名誉教授 外岡 豊

跡見学園女子大学マネジメント学部長 宮崎正浩

5) 会員（平成 29 年 1 月 26 日設立時現在）

合計 211 団体・個人

【行政】 4

埼玉県、さいたま市、日高市、戸田市

【住民団体】 18

彩の国環境大学修了生の会、（特）黒浜沼周辺の自然を大切にする会、  
 かわごえ環境ネット、荒川を守る会、環境浄化を進める会・杉戸、  
 さいたま市環境会議、四季の会、さざ波の会、桶川市山岳連盟 桶川山の会、  
 環境教育支援ネットワークきづき、桶川みどりの会、  
 （NPO）EE ハーモニー、（特）熊谷の環境を考える連絡協議会、  
 いいなイイナ、鴻巣の環境を考える会、  
 埼玉県地球温暖化対策西部地域協議会連絡会、  
 （特）自然エネルギー利用を普及させる会、環境まちづくり地域協議会inにいざ

【民間団体】 23

（一社）埼玉県環境検査研究協会、埼玉県商工会連合会、  
 埼玉県中小企業団体中央会、（公財）埼玉県産業振興公社、



(公財) 埼玉県公園緑地協会、(一社) 埼玉県トラック協会、  
(公財) さいたま市産業創造財団、さいたま商工会議所、  
(社福) 埼玉福祉会、埼玉県ガス協会、(一社) 埼玉県造園業協会、  
埼玉県板金工業組合、(公財) 埼玉県産業振興公社、  
埼玉県生活協同組合連合会、生活協同組合コープみらい、  
生活協同組合パルシステム埼玉、(公財) 埼玉県公園緑地協会、  
(公財) 埼玉りそな産業経済振興財団、(公財) サイサン環境保全基金、  
(一社) 埼玉県建設業協会、(一財) 関東電気保安協会埼玉事業本部、  
(一社) 日本経営士会埼玉支部、(特) 埼玉環境カウンセラー協会

## 【企業】 72

毎日興業(株)、東京ガス(株)埼玉支社、(株)デサン、武州ガス(株)、  
積水ハウス(株)埼玉支店、内藤環境管理(株)、  
長谷川香料(株)深谷事業所、猪俣工業(株)、(株)ユーパーツ、  
(株)田村商会、税理士法人 山田会計、マルキュー(株)、  
富士ゼロックス埼玉(株)、(株)いさみや、賛光精機(株)、  
(株)アートドットコム、(株)アクセル、アピカ(株)、(株)アルク設計事務所、  
(株)イーシティ埼玉、浦和レッドダイヤモンドズ、(株)エコ環境システム、  
(株)FM NACK 5、(株)エンライト、大宮アルディージャ、(株)神谷製作所、  
(株)関東パイプ技研、(医)誠昇会 北本共済病院、(株)国太楼、(株)甲商、  
国際チャート(株)、コクヨマーケティング(株)埼玉支店、サイエンス(株)、  
埼玉縣信用金庫、(株)埼玉新聞社、(株)埼玉ディエスジャパン、  
埼玉トヨペット(株)、埼玉日産自動車(株)、(株)埼玉りそな銀行、サンケイ鋼器(株)、  
(株)シール堂印刷 埼玉事業所、(株)ジャスト、(株)ジャパンアート、(株)松柳園、  
大成ロテック(株)、(株)太陽商工、(有)タカザワ企画、(株)タカヤマ、  
(株)テレビ埼玉、(株)東京化成製作所、東京サラヤ(株)北関東営業所、(株)ハイクレア、  
(株)ハイデイ日高、(有)パル、(株)ビージーサービス、(株)ヒメプラ、  
(株)ビルテクノマイニチ、(株)ビルヒット、フォーレスト(株)、  
(株)ぶぎん地域経済研究所、武州産業(株)、(株)ベルエール、ポラス(株)、(株)松永建設、  
(株)マッハ、(株)武蔵野銀行、望月印刷(株)、(株)与野フードセンター、  
リコージャパン(株)関東営業本部 埼玉支社、りそな総合研究所(株)、  
税理士法人 レッドサポート、(株)ワーム

## 【個人】 94

### (6) 会員等の拡大活動の展開

今後、クラブの活動を積極的に展開するとともに、クラブの拡大を目指して、鋭意、新規会員や学生サポーターの確保活動を行う。併せて、賛助団体としての協力要請を進める。